社会

社会科においては、分野の特質に応じた見方・考え方を働かせ、社会的事象の意味や意義などを考察し、概念などに関する知識を獲得したり、社会との関わりを意識した課題を追究したり解決したりする活動の充実を図ることが大切です。

◆ 「内容のまとめり」の考え方

社会科における「内容のまとめり」は、学習指導要領の「第2 各分野の目標及び内容」「2 内容」に示された中項目となります。

(例)〔地理的分野〕

- A 世界と日本の地域構成 (1) 地域構成
- B 世界の様々な地域 (1) 世界各地の人々の生活と環境
- B 世界の様々な地域 (2) 世界の諸地域
- C 日本の様々な地域 (1) 地域調査の手法
- C 日本の様々な地域 (2) 日本の地域的特色と地域区分
- C 日本の様々な地域 (3) 日本の諸地域
- C 日本の様々な地域 (4) 地域の在り方

◆ 内容のまとめりごとの評価規準の作成

①学習指導要領に示された教科及び各分野の目標を踏まえて、「評価の観点及びその趣旨」が作成されていることを確認します。

※「評価の観点及びその趣旨」は、巻末の「学習評価等に関する参考資料のリンク集」に掲載している「改善等通知」(別紙4 4～5ページ)を参照してください。

②社会科における「内容のまとめり」と評価の観点の趣旨との関係を確認します。

※〔知識及び技能〕は「知識・技能」、〔思考力、判断力、表現力等〕は「思考・判断・表現」と対応しています。

③観点ごとのポイントを踏まえ、「内容のまとめりごとの評価規準」を作成します。

※「観点ごとのポイント」は、巻末の「学習評価等に関する参考資料のリンク集」に掲載している「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料「中学校社会 (31～32ページ)」を参照してください。

【B 世界の様々な地域 (1) 「世界各地の人々の生活と環境」の内容のまとめりごとの評価規準(例)】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・人々の生活は、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。 ・世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人の生活や環境の多様性を理解している。その際、世界の主な宗教の分布についても理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

◆ 単元の評価規準の作成

社会科においては、各学校において作成した「内容のまとめりごとの評価規準」を基に、各分野の項目構成の特色を踏まえた上で、「単元の評価規準」を作成します。

なお、社会科における「内容のまとめり」と「単元」の大小関係に着目した評価規準作成のポイントについては、①「内容のまとめり」を単元とする場合、②「内容のまとめり」の一部を単元とする場合、③「内容のまとめり」を超えて単元とする場合の3つがあります。

ここでは、①「内容のまとめり」を単元とする場合の評価規準(例)を示しています。

【単元「世界各地の人々の生活と環境」の評価規準(例)】

知識の内容等を具体的に記述した部分

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①人々の生活は、その生活が営まれる場所の気温や降水量、標高などの自然的条件及び宗教や歴史的背景、科学技術の発展などの社会的条件から影響を受けたり、その場所の自然及び社会的条件に影響を与えたりすることを理解している。</p> <p>②世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界の人の生活や環境の多様性ととも、世界の主な宗教の分布について理解している。</p>	<p>・「なぜ世界各地では人々の生活に多様な特色が見られるのか。また、なぜそれは変容するのか」を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>「思考・判断・表現」については、生徒が考察し、表現しているかどうかなどの学習状況を捉えて評価規準を作成しています。</p> <p>また、各単元において、単元を通じた「問い」を設定し「社会的な見方・考え方」を働かせるなど、具体的な「視点」を組み込んだ評価規準を作成することが重要です。</p>	<p>・世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野に各地の人々の生活の特色やその変容の理由を、主体的に追究しようとしている。</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」については、地理的分野では、「よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究(、解決)しようとしている」ことができるよう、評価規準を作成しています。</p>

◆ 学習評価に関する事例

1 単元名 (小単元)

「世界各地の人々の生活と環境」

2 内容のまとめ

地理的分野「B 世界の様々な地域」(1) 世界各地の人々の生活と環境 (全8時間)

3 単元の目標

世界各地における人々の生活やその変容を基に、世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して、多角的・多面的に考察し、表現する学習を行うことで、世界の人々の生活や環境の多様性、世界の主な宗教の分布について理解できるようにするとともに、世界各地の人々の生活と環境について、よりよい社会の実現を視野に世界各地における人々の生活の特色やその変容の理由を、主体的に追究しようとする態度を養う。

4 単元の評価規準

※前ページ【単元「世界各地の人々の生活と環境」の評価規準(例)】を参照

5 指導と評価の計画 (8時間) ○：評定に用いる評価 ●：学習改善につなげる評価

小単元名 (時数)	○主な学習活動・内容	知	思	態	評価方法
「単元の導入」 (1)	○単元で登場する各地の人々の生活の様子を表すいくつかの景観写真から、気付くことや疑問を出し合い、ワークシートに記述するとともに、単元の学習の見通しをもつ。 ・場所などの視点に着目して、世界各地では、日本と異なる多様な生活の様子が見られることから、問いを見いだしたり予想したりする。 ・景観写真を用いて気候の特色をつかむ。				● 発言内容 ワークシートの記述内容
【学習問題：単元を貫く問い】「なぜ世界各地では人々の生活に多様な特色が見られるのか。また、なぜそれは変容するのか」					
「山岳地域と島しょい地域、暑い地域と寒い地域、い教が生る影に与え影響」 (2～4)	○景観写真や雨温図等を用いて、気候の特色をつかむ技能を身に付ける。 ○自然環境の影響を受けた生活、社会環境の変化に伴う生活の変容、宗教の影響を受けた生活、自然環境に影響を与える人々の生活について理解する。 ・景観写真や雨温図等を基に、情報を収集し、読み取る。 ・人々の生活の特色を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察する。 ・緯度や標高、降水量等の違い等を基に、世界各地の気候が大まかに区分されることを理解する。	①			発言内容 ノートやワークシートの記述内容
「異なる環境下の生活の工夫」 (5～7)	○環境の異なる地域で同様の住居や食事が見られる理由を、班で考察する活動を行い、その結果をワークシートに記述する。 ○各自で、これまでの単元の学習成果を活用して追究する活動を通して、同じ気候条件の中にも降水量の違いや宗教の違い等の要因から、生活の様子が異なってくることを考察する。その後、追究した情報を持ち寄り、班で話し合っってホワイトボードに書いて発表する。 ・人々の生活の特色を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察する。		○		発言内容 ノートやワークシートの記述内容
「単元のまとめ」 (10)	○ワークシートの気候帯の分布図や宗教分布図上に、学習した特色ある生活や変容に関する写真を貼り、それが見られる主な理由を書き添えて、これまでの学習内容をまとめる。 ○単元の学習を振り返って、関心をもちさらに調べたいことや、よく分からなかったこと、学習に向かう姿勢などを自己評価し、ワークシートに記述する。 ・人々の生活の特色を、その生活が営まれる場所の自然及び社会的条件などに着目して多面的・多角的に考察するとともに、その相互依存関係について理解している。 ・世界各地における人々の生活の特色などについてまとめる	②	○	●	発言内容 ワークシートの記述内容

【POINT】
「学習改善につなげる評価」は、授業中の机間指導や声かけ、授業中の発言やワークシートを用い、生徒が学習目標の達成を実現するために、修正すべき点のアドバイスや励ましなども含めた方法が考えられます。

【POINT】
「評定に用いる評価」は「学習改善につなげる評価」を踏まえて、教師が必要な指導を行い、生徒に学習状況の改善を図る機会を与えるように学習を計画することが大切です。

【POINT】
「思考・判断・表現」については、社会的事象の意味や意義、特色等を考察したり、社会に見られる課題を把握して、解決に向けて構想したりする活動を一層充実させることが大切です。

【POINT】
「主体的に学習に取り組む態度」については、単元のまとめでワークシートに記述する場面を設定し、調べたいことやよく分からなかったことなどを整理し、これからの学習に意欲的に取り組もうとしているかなどを見取り評価しています。
また、単元を超えて評価規準を設定するなど、ある程度長い区切りの中で評価することも考えられます。